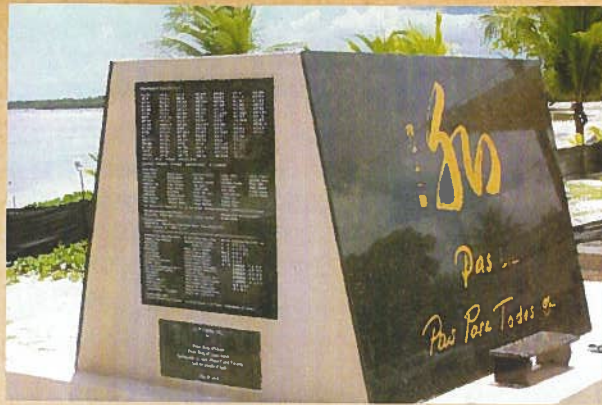


アルトム山(火の山)よりグアム国際空港を望む



アガット(昭和町)慰霊碑



ジーゴ平和慰霊公苑 表紙：慰霊塔



アガットの米軍司令部跡の
記念碑



Nikko HOTELより
ガンビーチを望む



ニミッツヒルよりアガット方面を望む



米海軍基地前の戦争歴史博物館前(日本の海軍特殊潜航艇)

グアム島戦の概要

グアム島の歴史

- ① グアム島は1521年マゼランが上陸しその後スペインの植民地を経て、1898年アメリカ・スペイン戦争の結果、アメリカに譲渡され、米国領として統治されていました。
- ② 日本は第一次世界大戦の後、ベルサイユ体制下に結ばれた国際連盟規約等により、マリアナ諸島を含む南洋諸島を「委任統治領」として認められ、領有していましたが、グアム島だけは、1898年以降アメリカ領のままであり、ワシントン軍縮条約で要塞の建設が禁じられていたため、開戦時には小規模の海軍基地のみがありました。
- ③ 日本軍は、1941年12月8日ハワイ真珠湾に引き続いてグアム島を爆撃、2日後に攻略軍を上陸させ占領しました。
- ④ グアム島では、1941年から始まる日本国に軍事占領と、その後の2年余に渡る日本軍政がありました。
- ⑤ 1944年7月21日、米軍の反攻上陸開始。日米激闘があり、1944年8月11日には組織的戦闘が終了し、其の後の米軍による掃討戦を経て1945年8月15日終戦を迎えました。
- ⑥ この間、日本の将兵19,135人と、米将兵1,862人の戦死があり、グアム島民の1,123人の犠牲と、他に身体的被害を受けた島民13,270人の方々が報告されております。